

# 【令和8年度】 沖縄県産分蜜糖ブランド化推進事業

## 事業概要

県産分蜜糖(粗糖・砂糖)の流通実態等の把握や、県内分蜜糖製造事業者が製造する分蜜糖(粗糖)について、食品として新たな付加価値を模索するとともに、県産分蜜糖(粗糖・砂糖)の流通・消費拡大を支援する。

事業期間: 令和8~10年度

総事業費: 41,259千円

## 現状の課題

- ・認知度の不足: 県民や観光客、地元企業において県産分蜜糖(粗糖・砂糖)が認識されていない。
- ・付加価値化の問題: 県内で製造された分蜜糖(粗糖)は、中間製品として県外で精製されており、沖縄県産の砂糖といった知名度が県内で生かされていない。
- ・食品としての利用可能性: 現在製造されている分蜜糖(粗糖)が、中間製品ではなく、食品として販売可能かどうかについて検証されていない。

## R8年度実施内容

- ・県産分蜜糖(粗糖・砂糖)の流通等実態調査(県内外)。
- ・県内菓子業界や食品業界での需要調査。
- ・県産分蜜糖(粗糖)の食品としての製造・販売に関する基礎調査。
- ・県産分蜜糖(粗糖・砂糖)の活用に関する検討会の設置・実施。  
【R8事業費: 13,753千円(特財)】

## 事業実施の目的・効果


### 【目的】

- ・県産分蜜糖に「新たな付加価値」を付与し、製糖事業者の「稼ぐ力」を強化する。
- ・県産分蜜糖の沖縄ブランドを再定義し、地産地消と域内経済循環の向上を目指す。

### 【効果】

製糖工場の経営安定、関連産業への波及

## 年度毎の取組

	R8年度	R9年度	R10年度
沖縄県産分蜜糖ブランド化推進事業	県産分蜜糖の流通等実態調査、利用可能性調査、製品化に向けた検討等を基に検討会で実効性の高いブランディング戦略を検証・実施する。 		

## イメージ図

### 糖業農産課

- ・事業取りまとめ
- ・周知・展開 等

### 委託業者

- ・県産分蜜糖等の流通等実態調査、需要調査、製造・販売に関する基礎調査、認知度向上の取組、検討会の開催 等

### 分蜜糖(粗糖)



### 分蜜糖(県産粗糖を使用した砂糖)



### 沖縄県産分蜜糖の付加価値の発掘・再定義

- 沖縄特有の風土(テロワール)が育んだ唯一無二の味
- 精製糖にはない深みやコクだけではなくSDGsに貢献する等、プロの料理人やパティシエが「指名買い」したくなる素材
- 適度なミネラルとコクがありながらも、黒糖と比較して料理の味を邪魔しない使いやすさと健康感のいいとこ取りとなる素材 等

★県産分蜜糖に「新たな付加価値」を付与、製糖事業者の「稼ぐ力」を強化

★県産分蜜糖等の県内における流通・消費拡大

## 年度毎の取組(イメージ)

### 1年目

#### ○実態・需要調査

県内外における分蜜糖の流通実態、および県内菓子業界やホテル等での需要を詳細に調査。

#### ○製造可能性調査

既存設備での製品化対応、または新たな設備投資の必要性について検討。

#### ○検討会の設置・開催

学識経験者や業界関係者（6名以上）を招集し、現状確認や課題整理、今後の方向性を検討。

### 2年目

#### ○試作品の検討

分蜜糖製造事業者と県産分蜜糖（粗糖）の試作品製造に向けた検討。

#### ○販売可能性調査

県産分蜜糖（粗糖）の販売可能性の調査。

#### ○既存製品による商品開発支援

県産分蜜糖（砂糖）を利用した商品開発への支援。

#### ○検討会の開催

県産分蜜糖（粗糖・砂糖）のブランド化に関する検討会の実施。

### 3年目

#### ○製造・販売に向けた検討

分蜜糖製造事業者と県産分蜜糖（粗糖）の製品化及び販売に向けた検討。

#### ○既存製品及び県産分蜜糖による商品開発支援

分蜜糖（粗糖・砂糖）を利用した商品開発への支援。

#### ○検討会の開催

県産分蜜糖（粗糖・砂糖）の県民への認知度向上及び消費拡大に関する検討会の実施。

## 期待される効果

#### ●製糖工場の経営安定：

県産分蜜糖（粗糖）に「新たな付加価値」を付与し、製糖事業者の「稼ぐ力」を強化。

#### ●関連産業への波及：

ブランド化された県産分蜜糖（粗糖・砂糖）を用いたラム酒、菓子、スイーツ等の高付加価値な二次加工品開発の促進や県内の宿泊施設や飲食店での積極的な利用を促し、地産地消に寄与するなど、県産分蜜糖（粗糖・砂糖）の県内における流通・消費を拡大。